

## 海のお米

前回、春に向けプランクトンがどんどん増えてゆくとお伝えして間もなく、大量に現れた動物プランクトンがいます。それは、ミナミヒゲミジンコ（学名：*Calanus sinicus*）で、コペポータというグループの一員です。大きさ2mmほどで、コペポータとしては大きくなり、目で見てわかります（写真1）。

2本のひげ（第一触角）が体の長さと同じか少し超えるほど長いことや体の大きさ、米粒のような体形などから他の種類と区別できます（写真2）。

ミナミヒゲミジンコ（以後ミジンコ）は、春先に増える植物プランクを食べて大増殖することが知られています。磯浜では岸近くに押し寄せたミジンコが波打ち際で強い波にさらわれ、大量に陸に打ち上げられて死んでいた（写真3）ことからそれがわかります。

この大増殖に合わせて魚など他の動物の子供たちが現れ、ミジンコを活発に食べて成長することから、海のお米とも言われます。

これから海の中は一段とにぎやかさを増していきます。

写真1

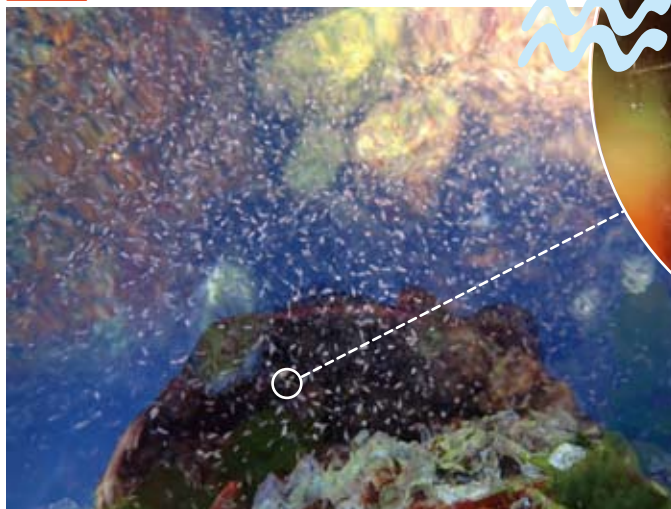


写真2



写真3



せんなん里海公園  
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所